

JCCGソフトボール大会ルール

A. 原則事項

1. 本大会は国際ソフトボール規定(スローピッチ・ルール)に則って行われることを原則とする。
2. 本大会は各ダイヤモンドに2名の審判を配し、ゲームの進行において疑問な点が発生した場合には調停を行う。審判の判定はあらゆる場合に絶対の権限を有する。
3. 使用するソフトボールは、マイナーリーグとリクリエーションリーグは日本製のソフトタイプ(3号)のボール、メジャーリーグのみアメリカ製のハードタイプのボールとする。
4. 万一ルールの解釈に関してチームからクレームを提起する場合は、本大会の目的である“懇親”に反するような過度の言動の無いよう、各チームの責任者は各々のメンバーに厳に徹底をはかること。
5. メジャー/マイナーリーグの試合は10名にて行われ、日本人以外の男性プレーヤーは守備、打撃時とも常時同時に3人までがプレーできるが、大会本部の事前承認により例外を認める場合もある。尚、交代は自由。女性の代打は制限無しとする。
6. リクリエーションリーグの試合は女性もしくは子供(10~14歳)を3人以上入れた12名にて行われる(守備は10名)。女性もしくは子供を守備では1名以上、攻撃ではEH(Extra Hitter)として2名指名する。日本人以外の男性プレーヤーは守備、打撃時とも常時同時に3人までがプレーできるが、大会本部の事前承認により例外を認める場合もある。尚、交代は自由。女性の代打は制限無しとする。
7. 1プレーヤーの複数チーム掛け持ち出場は禁止する。尚、掛け持ち出場が発覚した場合、その選手及びチームは試合から即退場とする。
8. 試合は7回戦、制限時間は50分とし、そのイニングを過ぎて新しいイニングに入らない。トーナメント戦に限り同点の場合、各チーム代表3名のジャンケン(1回ずつ)によって勝負を決める。決勝戦は制限時間無し。
リクリエーションリーグにおいては、下記特別ルールにて行う。
攻撃は1イニング5点を上限とし、5点が入った時点で攻守交代する。
フェンス越えホームランを打ったバッターは、その試合に限り反対打席でプレーする(ランニング・ホームランは適用外)。
9. リーグ戦において勝敗が同じとなった場合、順位決定は下記を優先する。
：対象チームの直接対戦での勝者
： が同点であった場合、全試合の得失点差
10. サヨナラ勝ちが決まった時点でゲームを終了する。
11. 試合後は早急に移動し、各試合5分前に指定されたグラウンドに集合すること。試合開始時

刻を過ぎてもメンバーの集まらないチームは、そのままの人数で開始すること。

12. 5回終了時点、またはそれ以降の回の終了時点で15点以上の差がある時はコールドゲームとする。
13. キャッチャーは危険防止の為、必ずマスク、帽子を持参し着用すること。
14. バットはソフトボール用(アルミを含む)のみを使用し、グリップには安全の為テープを巻くこと。
15. 金属製スパイク・シューズの使用は禁止する。
16. 毎試合後、勝利チームのキャプテンは試合結果を本部デスクへ

報告すること。

B. 試合に関するルール

1. ピッチャーの投球は高低 12~6 フィートの間でスローピッチされること。
2. ストライクゾーンは打者の肩から膝までとするが、最終的には主審の判断による。
3. 三振の場合は自動的にアウトとなる。(振り逃げは無しとする。)フォアボールは打者に一塁が与えられる。
4. ピッチャー・プレートは、ホームベースから 50 フィート (15.0m) 地点にある横木 (ラバー) とし、ピッチングはこれを踏んで一旦停止後、開始されなければならない。
5. フォース・アウト、タッチアウトとも同時の場合はアウトとする。
6. 盗塁は認めない。但し打者のヒットを予想して走塁を開始する場合、ピッチャーの投球が打者によってヒットされる時点からである。それ以前に離塁した走者はアウトとなる。
7. 投球に制限があるのでバントは認めない。間違っバントした場合、打者はアウトとなる。
8. 審判によりインフィールド・フライを宣言された場合は打者がアウトとなる。
9. 走者が塁上にあり、打者のフライボールが野手に捕球された場合、その捕球を確認した後、走者は塁上から離れ進塁を開始できる。
10. ルールに含まれない事態が発生した場合、常識的なルールに従い主審が裁定する。
11. 2ストライク後のファールはアウトとする。
12. ホームベースでのクロスプレーを避けるため、守備用と攻撃(走塁)用の二つのホームベースを設置する。タッチプレーについては、タイミングでセーフアウトを判定する。(審判に一任)

C. 大会運営に関する追記事項

1) 大会ルールについて

大会ルールは第3項にもありますように「懇親」を第一義とし、ルールの裏をかいて勝負にこだわるケースを排除すべく詳細にまでは規定されておりません。あくまで「懇親」をモットーに良識ある解釈を御願い致します。

2) 選手交代について

わずかな役員、審判にて運営しており、細かな交代手続きをとりながら規制することは困難であります。また、上記「懇親」をモットーとしていることから登録選手枠も規定しておらず、各チームの事情においてできるだけ多くの皆様に参加していただく意味から「交代自由」としております。

原則は同一ゲームにおける同一選手交代回数は一回とし各チームの良識ある采配を御願い致します。

3) 代打について

基本的には代打は選手交代と見なします。従って代打を出された選手はそのゲームに復帰できないこととなりますが、女性を代打に出した場合はこの限りではないことをもって「女性の代打は制限無し」とします。

尚、代打に出た場合の守備義務についての御質問もありましたが、これも代打＝選手交代を原則に代打に出た次のインニングの守備時に更に選手交代を受ける場合この守備義務はないこととします。

但し、上記でも御願いしましたように大会運営側による細かな管理は御容赦いただき、審判の裁定を尊重し、各チームの良識ある采配にてということと宜しく御願い致します。

4) スパイクについて

大会でクロスプレー時の安全のために「金属製」スパイクを禁止させて頂いております。ゴム、ウレタン、プラスチック等の非金属製スパイクは問題ありません。

5) 雨天中止連絡

ハリケーンの影響が心配されるところですが、会場は非常に水はけがよいということで、前日の晩10時の天気を参考に会場側と協議し、この時点で中止決定無き場合は「少雨決行」を基本とさせていただきます。

当日朝6時以降は会場に直接確認（録音テープですが）出来ます。

遠方からご参加のチームとは極力連絡を密にとらせていただきますが、疑わしきは決行ということで御判断願います。

尚、その他も含めた緊急連絡は後日配布致します連絡網に従って迅速な連絡に御協力願います。

以上

JCCGソフトボール大会ルール 補足

EH 枠の採用について

応援の方々にも安全かつ気軽に参加していただくことを目的として EH 制を採用する。
この趣旨に鑑み、以下の条件のもと最大 2 枠の EH を設ける。

- 10 歳～14 歳までの男性、または 10 歳以上の女性（どちらも国籍問わず）が対象
- EH はレギュラーメンバーの代わりに打席に立つが、メンバー交代では無い。
- 塁走には代走者（レギュラーメンバー）を立てて良い。
- EH 枠を利用してレギュラー参加クラスの大人が打席だけに立つ事は不可とする。
- 試合途中で EH 枠を解消し、レギュラーメンバーが打撃をすることは可能。逆に試合途中から EH 枠を使用することも可能。いずれの場合も相手チームへその旨（EH 枠の解消、使用）連絡する。
- 各試合開始前に提示する Batting Order 表に、EH 可能性打者の欄に EH を明記する。
- EH 枠は使用しなくても良い。

<補足:試合参加の制限レベル一覧>

年齢	日本人男性		日本人以外男性		女性(国籍問わず)	
	レギュラー	EH 参加	レギュラー	EH 参加	レギュラー	EH 参加
0～9 歳	NG	NG	NG	NG	NG	NG
10～14 歳	OK	OK	OK	OK	OK	OK
15 歳～	OK	NG	3 名まで	NG	OK	OK

特別代走について

高齢などの理由によりランナーとして塁走するのが困難であるが、守備にはつきたいという場合は、相手チームの了承のもと以下の要領で特別代走を送ることが可能。

- 対象者が一塁に到達した時点で特別代走を申請する。
- この際の代走は当該対象者の直前にアウトになったレギュラーメンバーが行う。
- これにより、当該対象者は選手交代とはみなさず、攻撃終了後守備につくことが可能。